

富士宮市立黒田小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年5月26日(木)

歴史学習が始まる時期に実施して、よかった！

富士宮市立黒田小学校の6年生115人が、歴史学習の導入として、地域の遺跡に関心をもったり古代の人々に対する課題意識や追求意欲を高めることを目的に、6年部の深澤先生が出前授業を計画し、発掘調査の話（地域の遺跡）、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの4つの体験活動を行いました。

発掘調査の話(地域の遺跡)

「黒田小の話が出たので、子どもたちにとって身近なものになりました。」

埋蔵文化財センターの業務内容と黒田小学校周辺の遺跡について話を興味深く聞いていました。発掘調査の話は、専門的でわかりにくい点もありましたが、メモをとりながらしっかり聞いていました。



石器の試し切り体験

「黒曜石が切れるとは思っていなかった。」

はじめは、旧石器時代や縄文時代・弥生時代などの古代の話をしながらか進めました。打製石器や磨製石器など石器の種類や、石器の役割など、詳しく説明しました。その後、黒曜石を使って、新聞紙や持参した野菜くずなどの切れ味を試しました。

「あまり切れないと思っていただけ、よく切れて驚いた。」

土器の分類体験



縄文時代から古墳時代までの簡単な時代の流れを聞いた後、縄文土器・弥生土器・須恵器の完成品を見ながら、土器片を分類しました。実物を見たり、触ったりすることで、色や厚さ、形、重さなどの違いがわかってきて、分類に迷った土器片も分けることができました。

「時代によって柄が違うことがわかりました。」

「見分けるのが難しかった。」

火起こし体験

「すごい疲れた。」
「意外に大変だった。」
「バランスが難しい。」
「2人ならできた。」

天気の良い少し暑い日でしたので、校舎の日陰になる場所で火起こしを行いました。火の歴史と火の意義について考えてみました。もみきり法や弓きり法、舞きり法などのやり方を紹介し、知っている児童も数人いましたが、実際にやったことはないようでした。次に、自分たちが舞きり法で火起こしをします。弾み車を調子よく回すまでに少し時間がかかりましたが、慣れてくるとリズムよく回すことができるようになりました。2人1組で弾み車を回し、協力している班は火種を作ることができ、「フーフータイム」も風向きを考え、慎重に息を吹きかけ火を起こすことができました。

深澤先生の感想

「学校ではできないことを、歴史学習が始まる時期に実施していただき良かった。資料付きで分かりやすく解説していただいたり、子どもの質問にも分かりやすく答えていただき、どの体験も楽しく意欲的に活動できました。」

